

2024年7月24日

報道関係各位

三菱地所株式会社
J.フロント都市開発株式会社
日本郵政不動産株式会社
明治安田生命保険相互会社
株式会社中日新聞社

「(仮称) 錦三丁目 25 番街区計画」の建物名称を 「ザ・ランドマーク名古屋栄」に決定 ～名古屋の新たなシンボルタワーが栄に誕生～

三菱地所株式会社、J.フロント都市開発株式会社、日本郵政不動産株式会社、明治安田生命保険相互会社、株式会社中日新聞社の5社は、名古屋市中区錦三丁目において開発中の「(仮称) 錦三丁目 25 番街区計画」(以下、「本計画」)について、建物の名称を「ザ・ランドマーク名古屋栄」(英語名称: The Landmark Nagoya Sakae)に決定しましたのでお知らせいたします。本計画の竣工は2026年3月、施設の開業は2026年夏頃を予定しております。

本計画は名古屋随一の商業エリア「栄」の中心に位置し、「名古屋の新たなランドマークとなる国内外の文化・交流価値創造拠点」をコンセプトに、栄エリアの都市機能強化を目指し開発を推進しております。栄エリアで最も高い約211mとなる本計画内には、オフィス、名古屋初の「コンラッド・ホテルズ & リゾーツ」や栄エリア初の「TOHO シネマズ」が進出し、商業ゾーンは「J.フロント リテイリンググループ」による商業施設が整備されます。本計画が中日ビル、テレビ塔と共に、名古屋の新たなシンボルエリアとなることで、栄を世界中から人々の訪れる文化交流都心へと躍進させ、名古屋の国際競争力を高めていきたいという想いを込め「ザ・ランドマーク名古屋栄」に決定いたしました。



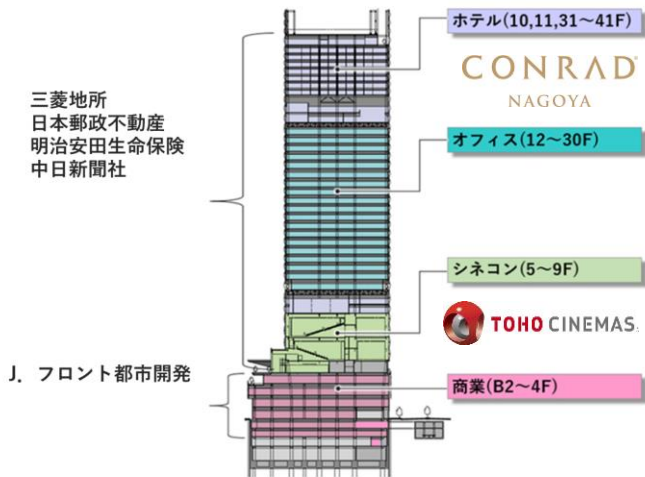
▲外観イメージ (南東側)



▲久屋大通南側からの外観イメージ (左側が本計画)

本計画を通じ、栄エリアの重層的な都市機能整備を推進することで、栄の求心力を高める新たなランドマークを生み出し、名駅エリアと合わせた2核両輪で名古屋の国際競争力強化に貢献してまいります。

■権利関係・用途構成



▲40F ホテルルーフトップバーからの眺望イメージ

■周辺地図



▲広域図



▲狭域図

■計画概要

建物名称：ザ・ランドマーク名古屋栄

所在地：名古屋市中区錦三丁目 2501 番 1、2501 番 2、2514

交通：地下鉄東山線・名城線「栄」駅直結

敷地面積：4,866.40 m²

延床面積：約 109,700 m²

階数・高さ：地上 41 階、地下 4 階、塔屋 1 階・高さ約 211m

構造：鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造

主要用途：ホテル、オフィス、シネコン、商業、駐車場

事業者：三菱地所株式会社、J. フロント都市開発株式会社、日本郵政不動産株式会社、明治安田生命保険相互会社、株式会社中日新聞社

設計：株式会社三菱地所設計、株式会社竹中工務店

監理：株式会社竹中工務店

コンストラクションマネジメント：株式会社三菱地所設計

新築施工者：株式会社竹中工務店

新築工事着手：2022 年 7 月 1 日

竣工：2026 年 3 月（予定）

開業：2026 年夏頃（予定）

【参考】

・「(仮称) 錦三丁目 25 番街区計画」着工

https://www.mec.co.jp/news/archives/mec220613_n325.pdf

・名古屋・栄に「コンラッド名古屋」2026 年開業予定

https://www.mec.co.jp/news/archives/mec220613_n325hotel.pdf

以上